

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成 25 年 4 月 日

協議会・構成員 芦別市地域公共交通会議

会長(芦別市副市長) 荻原 貢

構成員 関係行政機関、学識経験者、関係団体、交通事業者、公募市民 等

事務局 芦別市役所(市民福祉部市民課)

事業名	調査事業の結果概要	調査事業実施の適切性	生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針
記載要領	【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C評価 【調査事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】	【生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針(補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載)】
芦別市生活交通ネットワーク計画策定調査	<p>○公共交通空白地域の解消などの課題解決に向け、循環バス、乗合タクシーの短期実証調査を実施した。</p> <p>○利用者アンケート及び乗降調査を実施し、利用状況、問題点、要望などの抽出を行った。</p> <p>○規模の大きな事業所において、職員向けに啓発チラシ及びパンフレットを作成し、意識改革と公共交通機関利用者の掘り起こしを行った。</p> <p>○上記を踏まえ、公共交通の維持確保を継続して実行し、持続可能な公共交通の実現を図るため、運行系統、運行形態の検討を行った。</p>	A 短期実証調査実施前に、市内各地域において住民説明会を実施し、利用者のニーズ把握に努め、短期実証調査時の運行時刻等を利用者ニーズに合わせる形で一部変更したほか、短期実証調査の利用実績及び利用者アンケート調査結果について、町内会を通じて全世帯に回覧し、情報提供を行った。	<p>調査事業の結果をもとに、地域の要望と利用実態、市の財政負担軽減に配慮した交通体系を構築するため、平成25年度に地域公共交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統及び減価償却費)を策定し、国庫補助金を申請予定。</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規路線による循環バス(本町循環線、上芦別循環線、頼城循環線、新芦別温泉線)運行～平成25年10月予定</li> <li>・デマンド型乗合タクシー運行～循環バスの利用状況を検証し、バス利用者の少ない地域及び時間帯で乗合タクシーの運行が効果的と判断された場合は、平成26年10月以降に運行予定</li> </ul>

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。